



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL https://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 小野寺 純 TEL 03-6380-7490
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	210	△61.2	△554	—	△558	—	△557	—
2018年12月期第3四半期	543	—	△94	—	△94	—	△96	—

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 △566百万円 (—%) 2018年12月期第3四半期 △102百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	△48.55	—
2018年12月期第3四半期	△8.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	1,313	1,067	79.5	87.77
2018年12月期	1,586	1,411	87.5	121.19

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 1,043百万円 2018年12月期 1,388百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—		
2019年12月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300	29.2	△1,100	—	△1,100	—	△1,100	—	△95.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	11,891,819株	2018年12月期	11,459,419株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	154株	2018年12月期	154株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	11,491,170株	2018年12月期3Q	11,426,581株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが継続し、景気の緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦の長期化に加え、中東情勢の緊迫化や戦後最悪と言われる日韓関係の悪化などにより、先行きは不透明な状況で推移しております。

先端医療・再生医療分野におきましては、大手医薬品・医療機器企業による積極的な出資・共同開発に関する報道が見受けられ、再生医療分野への将来の期待度・関心度はますます高まりを見せております。

以上のような環境の下、当社グループは再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は210,651千円(前年同四半期比332,843千円の減少)、営業損失は554,907千円(前年同四半期比459,911千円の増加)、経常損失は558,643千円(前年同四半期比464,085千円の増加)、親会社株主に帰属する四半期純損失は557,897千円(前年同四半期比461,623千円の増加)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、更なる器材事業拡充を目指し、新規器材の研究開発に取り組みました。販売面では、温度応答性細胞培養器材を中心とした、器材製品の拡販に向けた既存代理店との協業強化及び新規代理店候補の探索を推進いたしました。また、認知度向上に向け、当社主催の第一回細胞シート工学イノベーションフォーラムを2019年7月に開催し、160名弱のアカデミア及び企業からの参加がありました。

以上のような結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は75,651千円(前年同四半期比32,155千円の増加)、営業損失は40,387千円(前年同四半期比17,019千円の減少)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

自己細胞由来の軟骨再生シートの開発では、2019年1月に開催されました厚生労働省「第71回先進医療会議」において当社の共同研究先である東海大学医学部付属病院が申請いたしました「自己細胞シートによる軟骨再生治療」が承認されました。先進医療が開始した際には、当社は細胞シートの受託製造を有償で実施する予定です。

また、台湾では当社支援のもとで引き続き細胞シート再生医療事業の開発・事業化が進んでおり、当第3四半期連結会計期間には台湾の事業提携先であるMetaTech社から事業提携の活動の一環として、一部の開発データについて提供が完了したことによる売上高30,000千円を計上しました。

以上のような活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は135,000千円(前年同四半期比364,999千円の減少)、営業損失は274,155千円(前年同四半期は182,205千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて281,891千円減少し、1,223,423千円となりました。これは主に、現金及び預金が45,666千円増加した一方で、売掛金が314,427千円減少したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて273,134千円減少し、1,313,368千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて71,609千円増加し、246,328千円となりました。これは主に、短期借入金150,000千円増加した一方で、前受金が34,502千円、未払金が24,001千円減少したことなどによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて71,609千円増加し、246,328千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて344,744千円減少し、1,067,040千円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ110,888千円増加した一方、親会社株主に帰属する四半期純損失557,897千円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年2月15日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,057,893	1,103,559
売掛金	328,455	14,028
商品及び製品	22,342	17,224
仕掛品	5,823	2,965
原材料及び貯蔵品	29,454	31,354
前払費用	12,015	15,154
その他	49,326	39,135
流動資産合計	1,505,314	1,223,423
固定資産		
有形固定資産	19,064	27,952
無形固定資産	512	613
投資その他の資産	61,612	61,379
固定資産合計	81,189	89,945
資産合計	1,586,503	1,313,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,828	3,147
短期借入金	—	150,000
未払金	56,873	32,872
未払法人税等	25,056	2,352
賞与引当金	—	18,181
前受金	64,616	30,114
その他	20,344	9,661
流動負債合計	174,719	246,328
負債合計	174,719	246,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,509,913	3,620,801
資本剰余金	731,710	842,598
利益剰余金	△2,835,232	△3,393,130
自己株式	△227	△227
株主資本合計	1,406,164	1,070,042
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△17,454	△26,314
その他の包括利益累計額合計	△17,454	△26,314
新株予約権	23,074	23,311
純資産合計	1,411,784	1,067,040
負債純資産合計	1,586,503	1,313,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	543,495	210,651
売上原価	18,044	39,014
売上総利益	525,450	171,637
販売費及び一般管理費		
研究開発費	298,941	379,645
その他	321,504	346,899
販売費及び一般管理費合計	620,446	726,544
営業損失(△)	△94,995	△554,907
営業外収益		
受取利息	13	11
為替差益	—	291
受取手数料	354	340
還付加算金	257	175
その他	10	15
営業外収益合計	635	834
営業外費用		
支払利息	—	175
為替差損	193	—
新株発行費	—	4,394
その他	3	—
営業外費用合計	197	4,569
経常損失(△)	△94,557	△558,643
税金等調整前四半期純損失(△)	△94,557	△558,643
法人税、住民税及び事業税	1,717	△745
法人税等合計	1,717	△745
四半期純損失(△)	△96,274	△557,897
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△96,274	△557,897

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△96,274	△557,897
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,013	△8,859
その他の包括利益合計	△6,013	△8,859
四半期包括利益	△102,288	△566,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102,288	△566,757
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ110,888千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,620,801千円、資本剰余金が842,598千円となっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,495	500,000	543,495	—	543,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,495	500,000	543,495	—	543,495
セグメント利益又は損失(△)	△57,406	182,205	124,799	△219,794	△94,995

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△219,794千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,651	135,000	210,651	—	210,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	75,651	135,000	210,651	—	210,651
セグメント損失(△)	△40,387	△274,155	△314,543	△240,364	△554,907

(注) 1 セグメント損失の調整額△240,364千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(第18回新株予約権の権利行使)

当社が2019年9月2日に発行した第18回新株予約権につき、2019年10月1日から2019年11月13日までの間に、以下のとおり行使されました。

(1) 新株予約権行使の概要

- ① 新株予約権の名称
株式会社セルシード第18回新株予約権
- ② 行使価格
1株あたり433～473円
- ③ 行使新株予約権個数
4,442個
- ④ 行使者
バークレイズ・バンク・ピーエルシー (Barclays Bank PLC)
- ⑤ 交付株式数
444,200株
- ⑥ 行使価額総額
199,015千円

(2) 当該新株予約権行使による発行済株式数及び資本金

- ① 増加する発行済株式数
444,200株
- ② 増加する資本金の額
99,736千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は1,057,893千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当第3四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社グループは、今後、食道再生上皮シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。